

# 障害者計画相談支援事業について

(2016年愛知自治体キャラバンまとめ)

昨年より786人増になっている。名古屋:103%。一宮:117%、春日井:156%、安城:175%、と増加している一方、刈谷:66%、犬山80%、稲沢57%と減少している。市町村での回答にバラつきが大きい。問題点の多くは、相談支援員の不足をあげている。

市町村名	2016年7月 利用実績	2015年8月 利用実績	計画相談支援実施上の問題点
1 名古屋市	1,978	1,919	
2 豊橋市	558	512	
3 岡崎市	346	315	計画相談を実施する相談支援員が不足している
4 一宮市	2,807	2,393	相談支援員の不足及びサービス利用計画の内容や質の向上
5 瀬戸市	44	37	
6 半田市	243	207	
7 春日井市	460	294	特定相談の事業所が少なく、希望者が利用できない。
8 豊川市	177	139	相談支援専門員の数が増えず、十分な計画相談ができていない
9 津島市	88	84	相談員の質 量ともに不足しており、計画相談の実施は容易ではない状況である。
10 碧南市	397	325	
11 刈谷市	51	77	
12 豊田市	14.3	103	
13 安城市	283	162	遠隔地の利用者に対する計画相談の支給について
14 西尾市	83	79	相談支援事業所数が利用者に対して少ない。
15 蒲郡市	108	104	
16 犬山市	83	103	
17 常滑市	27	40	
18 江南市	67	51	
19 小牧市	133	188	
20 稲沢市	58	101	
21 新城市	92	88	
22 東海市	80	77	
23 大府市	338	362	
24 知多市	257	233	
25 知立市	81	65	
26 尾張旭市	35	25	
27 高浜市	50	37	
28 岩倉市	51	19	相談支援員が少なく、1人当たりの対応人数が増えています。
29 豊明市	62	325	
30 日進市	30	27	
31 田原市	99	103	
32 愛西市	466	396	
33 清須市	37	59	どの相談支援事業所も相談員が抱えるケースの数が限界にきており、新規の相談が受けにくい状態である。相談支援専門員を増やす必要があるが、新規参入する事業所がない。
34 北名古屋市	42	22	相談支援事業所、相談支援専門員が不足している。
35 弥富市	38	24	
36 みよし市	276	208	計画相談のみでは事業所が成り立たない。
37 あま市	479	300	
38 長久手市	42	37	
39 東郷町	55	8	
40 豊山町	12	7	
41 大口町	7	9	
42 扶桑町	27	165	モニタリング提出について、事業所によって差がある。
43 大治町	83	67	相談員の人数が少ない。
44 蟹江町	37	34	相談支援専門員の人員不足、質の確保
45 飛島村	2	2	
46 阿久比町	73	119	
47 東浦町	219	258	計画相談従事者の不足
48 南知多町	65	74	
49 美浜町	23	23	事務所が町内に少ない。3町で知多南部相談支援センターに相談業務を委託。
50 武豊町	46	30	定期的なモニタリングを行い、適正なサービス利用ができるように支給量を決定する。
51 幸田町	56	42	相談支援専門員が不足している。
52 設楽町	12	14	
53 東栄町	6	5	
54 豊根村	8	8	